

鬼さん、こちら。

主演、中村吉右復門

脚本/野上龍雄

●監督/小野田嘉

百年 松竹

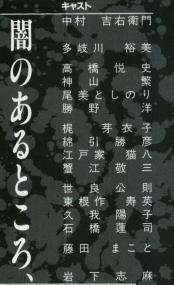




說

テレビで舞台でその人気を誇る時代劇『鬼平犯科帳』がついに映画化される。"鬼平ブーム"のまさに頂点を極める、映画『鬼平犯科帳』の誕生である。盗賊たちから「鬼の平蔵」と恐れられる火付盗賊改方長官・長谷川平蔵。時代小説の第一人者である故・池波正太郎の大ベストセラー・シリーズである原作は、凶悪な盗賊たちに立ちむかう長谷川平蔵と彼を取り囲む人々の人情の機微を、四季折々の江戸情緒いっぱいに描いたものである。

映画版『鬼平犯科帳』では、江戸と大坂の二 人の大盗賊が平蔵の抹殺を企み、悪行の限り を尽くして平蔵をおとしいれようとする。そ うした陰謀に対して敢然と立ち向かう鬼平の



姿を軸に、よりスケールアップした物語が展 開する。

主演の長谷川平蔵には実父の松本白鷗と親子 二代で平蔵役を演じる、中村吉右衛門。原作 者の池波正太郎も「鬼平役は吉右衛門につき る。まさに天の配剤」と大絶賛したように、彼 の当たり役として、今回の映画ではその魅力 が全開。人の心の痛みを敏感に察する情の部 分と「鬼」と称されるほどの非情な凄味をあわ せもつ鬼平という人物を重厚かつ繊細に、人 間味豊かに演じきっている。

まさしく時代劇の枠を越えた平成のヒーロー の誕生である。



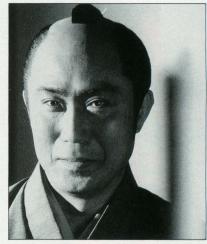
物





市ヶ谷の薬種問屋に賊が押し入り、十六人を 惨殺。現場に残された絵札から"狐火"一味 の仕業とわかる。狐火の二代目・勇五郎(世良 公則)とおまさ(梶芽衣子)は、昔深い仲であっ た。偶然にもおまさは、勇五郎と再会。激情 にかられて再び男と女の仲になる。今は密偵 として火付盗賊改方長官・長谷川平蔵(中村吉 右衛門)の下で働くおまさの心は揺れ動く。薬 種問屋の一件は、勇五郎の犯行ではなく、彼 の異母弟・文吉がおこなったものだった。そし てその黒幕は大坂の大盗賊・白子の菊右衛門 (藤田まこと)だった。菊右衛門は江戸の女盗 賊・お豊(岩下志麻)と同盟を組んで、平蔵の失 脚を企んでいた。まず手始めに文吉を使って 平蔵の攪乱を狙ったのだ。次に菊右衛門たち が企んだ事は、平蔵の命を直接狙うことであ った。菊右衛門が放った凄腕の刺客が平蔵の 抹殺をはかるが……。

一方お豊は、平蔵を苦しめ、動揺を誘う為に 平蔵の息子・辰蔵に近づいていく。お豊は昔平 蔵と恋仲であった女だった。今は盗賊となっ たお豊にとって、平蔵には愛憎が半ばしてい た。追い詰められた平蔵は、果たしてこの危 機を乗り切れるのだろうか……。





特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200)発売中

有楽町・マリオン新館5F

丸の内松竹

03(3214)3366